

今後の主な講習会日程(平成21年度分)

発行日 平成21年6月15日

・ 安全教育講習

(1) ガス溶接技能講習

平成21年 6/22日(月)23日(火), 7/7日(火)8日(水), 7/23日(木)24日(金), 8/3日(月)4日(火), 8/18日(火)19日(水), 9/1日(火)2日(水), 9/16日(水)17日(木), 10/1日(木)2日(金), 10/27日(火)28日(水), 11/10日(火)11日(水), 11/24日(火)25日(水), 12/8日(火)9日(水), 12/21日(月)22日(火), 平成22年 1/13日(水)14日(木), 1/27日(水)28日(木), 2/9日(火)10日(水), 2/22日(月)23日(火), 3/9日(火)10日(水), 3/24日(水)25日(木)
--

(2) アーク溶接特別教育講習

平成21年 6/24日(水)25日(木)26日(金), 7/16日(木)17日(金), 8/26日(水)27日(木)28日(金), 9/28日(月)29日(火)30日(水), 10/21日(水)22日(木)23日(金) 11/25日(水)26日(木)27日(金), 12/16日(水)17日(木)18日(金) 平成22年 1/21日(木)22日(金), 2/24日(水)25日(木)26日(金), 3/17日(水)18日(木)19日(金)
--

・ 各種技術講習

(1) 非破壊検査技術導入教育

超音波探傷試験	超音波探傷 入門講習	平成21年 7/29(水)~7/31(金)
浸透探傷試験	レベル1(PT,PD,PW)	平成21年 7/23(水)~7/24(金)
	レベル2(PT,PD)	平成21年 7/29(水)~7/31(金)
磁粉探傷試験	レベル1(MT,MY,ME,MC)	平成21年 7/9(木)~7/10(金)
	レベル2(MT,MY)	平成21年 7/13(月)~7/15(水)

(2) 非破壊試験 学科試験対策講習

超音波探傷試験	レベル1(UT)	平成21年 8/24(月)~8/25(火)
	レベル2(UT)	平成21年 8/31(月)~9/2(火)
浸透探傷試験	レベル1(PT,PD,PW)	平成21年 8/25(火)
	レベル2(PT,PD)	平成21年 8/27(木)~8/28(金)
磁粉探傷試験	レベル1(MT,MY,MC,ME)	平成21年 8/20(木)~8/21(金)
	レベル2(MT,MY)	平成21年 8/31(月)~9/1(火)
放射線透過試験	レベル1(RT)	平成21年 8/20(木)~8/21(金)
	レベル2(RT)	平成21年 8/24(月)~8/25(火)
材料試験	レベル3共通	平成21年 8/20(木)~8/21(金)

(3) 溶接管理技術者認証取得教育

	WES1級	WES2級
認定研修会	平成21年 9/15(火)~9/18(金)	平成21年 9/15(火)~9/17(木)
直前対策演習	平成21年 10/24(火)~10/25(金)	平成21年 10/17(土)~10/18(日)

(4) 鉄骨製作管理技術者資格(1級, 2級)取得講習 平成21年 9/5(土)~9/7(日)

(5) AWS-CWI資格取得講習 Part C 補講 平成21年 7/16(木)~7/17(金) 事前セミナー - 平成21年 8/24(月)~8/28(金)

(6) 抵抗溶接実務教育講習 平成21年 10/3(土)~10/4(日)

・ 溶接技能訓練講習

ステンレス鋼溶接(被覆、ティグ、ミグ)	7/1(水)~7/2(木), 8/5(水)~8/6(木), 9/2(水)~9/3(木)
アルミ合金溶接(ティグ、ミグ)	8/19(水)~8/20(木), 9/16(水)~9/17(木), 10/14(水)~10/15(木)
半自動アーク溶接(炭酸ガス)	8/4(火)~8/6(木), 10/6(火)~10/8(木)

・ 検定日

鋼溶接検定日	平成21年 7/3(金), 7/10(金), 8/7(金), 9/4(金), 10/9(金)
アルミ溶接検定日	平成21年 8/21(金), 9/18(金), 10/16(金)

発行所 財団法人 日本溶接技術センター 事務部門
〒210-0001 川崎市川崎区本町2-11-19
Tel 044-222-4102 Fax 044-233-7976
URL <http://www.jwsc.or.jp/>

日溶セがいで

第16号

第16号の主な内容

1、日本溶接技術センター 非常勤講師からの寄稿

本号では、日本溶接技術センター - 非常勤の先生方を代表し、濱野、今井両先生に寄稿して頂きました。それぞれ、永年にわたって培ってきた専門技術活動に対する深い思いがうかがえる内容であります。今後も機会を捉え、諸先生方のお話を掲載していきたいと考えています。

- (1) 電気屋の思い出 濱野 公男
- (2) 日本溶接技術センターの発展を願って
- 教壇に立つことへの感謝と魅力ある教育環境確立へのお願い - 今井 兼敬

2、今後の主な講習会日程(平成21年度分)



理事会・評議員会 風景



横浜開国博 風景



電気屋の思い出

濱野 公男

社会に出て約40年余、その大半をフレーム系鋼構造物の製作に携わってきたが、常に溶接と縁が切れることはなかった。

溶接に纏わる失敗を数え上げたらきりが無い程ある。失敗などいやなことは早く忘れたと思うものであるが、失敗からは技術的なことを学ぶ他に、その時に関わった人達の様々な対応からも学ぶものがあり、これらのことが我が技術屋人生に影響を与えたことは否定できない。

失敗した製品の復元には、管理部門といわれる事務所の連中はあてにならなかったが、優秀な溶接技能者（昔は、溶接工を職人の間では電気屋と呼んでいた。以下「電気屋」という。）に多々助けられたことは、今でも忘れられない。

1. 電気屋は体一つで世界を駆ける

腕がものをいう職人といってすぐ頭に浮かぶのは、電気屋を除くと大工、植木屋、板前、散髪屋などであるが、これらの職人は、道具は自前である。しかし、自前の溶接ホルダーを持ち歩いている電気屋がいるなど聞いたことがない。道具への投資がいない職種は他には見当たらない(?)。その代わり、3年に1回検定試験を受けて資格を維持していかなければならない。

どちらがどうと比較は難しいが、健康で仕事する気持ちさえあれば、腕のいい電気屋には世界のどこにでも仕事がある。過去にも、海外各地の建設工事に多くの電気屋が出向いており、現地人を嫁さんにした兵(つわもの)もいた。

2. 電気屋の手は白くてきれい

腕がいいので頼りにしていた電気屋とよく飲みに行ったが、ある時、初めて入ったスナックでのこと、その店のママが電気屋の手をみて、「あなたの仕事当てましょうか。溶接している人でしょう。」

「当たり前!何でわかった?」

「私、職業柄、お客さんの手を見れば何をしている人がだいたいわかるの。あなたの手、白くて傷跡がなくきれいでしょ。これは、年中手を完全防御して怪我などしないように、大事にしている仕事といえば溶接以外に思い当たらないわ。」

3. 電気屋は頼りになる

某国に輸出用の鉄骨工事に関わった時のこと、その構造や板厚は初めて体験するもので、最大板厚が5インチの仕口貫通タイプのプレートボックス柱を主体とするものであった。

これだけ板厚が大きくなると生半可な溶接の知識や経験だけでは、うまくいかないことを嫌という程味わわされた。こんなに板厚が大きくなると、チョットやそつとのことでは溶接割れを防げない。残業を終えて帰宅しても、翌朝の出勤は気が重かった。何故なら、翌朝自席に着くや否や、守衛が飛んできて、昨夜見廻り中に「バァーン!」というものすごい音がしたとの報告が連日のようにあった。その頃、寒くもないのに溶接割れなんてと思っていたが、音の原因は、溶接部が夜間の冷却中に、ルート部を起点に母材を横断した見事(?)な脆性破壊であった。ほんとうに溶接は難しく怖い。

この部材を廃棄するわけにいかないの、手直しである。割れをガウジングで除去後、CO2半自動溶接で埋め戻すわけであるが、1ヶ所埋めるのに20kg巻きのワイヤでは足りない。連日陣頭指揮で、徹夜の手直しである。手直しは非生産的な仕事であり、疲れは通常の数倍、精神的にも参ってしまう。こんな時、事務所の人間はあてにならない。「お前も大変やの~」でおしまい。そんな時、腕のいい電気屋仲間が「オヤジ、心配するな、わし等に任せとけ。」この言葉には、ほんとうに救われる思いがした。この作業は数ヶ月近く続いたが、最後の部材を無事船に積み終わったのを見届けた時は、感無量であった。

この時のことは、昨日のことのように覚えており、思い出す度に、当時の助けてくれた電気屋仲間の顔が思い浮かぶとともに、いい奴らだったなあ感慨もひとしおである。

日本溶接構造専門学校で学ぶ学生諸君、どのような分野に進もうとも溶接に関係する仕事についたら、電気屋を大切にすることを忘れないでいただきたい! それは、諸君らの技術屋人生に必ずプラスをもたらしてくれると信じるからである。

日本溶接技術センターの発展を願って - 教壇に立つことへの感謝と魅力ある教育環境確立へのお願い -

今井 兼敬

(私の教育スタンス)

私の仕事に対する取組姿勢は「明るく・楽しく・積極的に」です。

2003年9月(後期授業)から日本溶接技術センター学校部門で「工場経営法」の講義を開始し、6年目を迎えます。2007年4月からは、「安全衛生学」の講義も担当し、学生さん達に安全衛生学の大切さを伝える活動に情熱を注いでいます。なお、昨今の自動車業界をはじめ多くの工業分野で、3次元CADの活用が盛んになってきている趨勢を踏まえ、「3次元CADの導入と教育訓練」を提案してきましたが、漸く実現の運びになり、ソフト選定とその立ち上げに続きカリキュラム編成・推進と非常に苦労はしましたが、昨年1年を通じた演習授業を無事に遂行することができました。学生はゲーム感覚で積極的に3次元CAD演習に取組み、全員が初期の目標レベルに達成したことを評価したいです。

私は常日頃、学生達に下記の2点を説いています。

- 1)「チャレンジ精神の持続」が必要であること。
- 2)IT技術を活用した機械と人間の協調型仕事の構築(人と地球にやさしい)を考えること。

加えて、生徒と先生が一緒になって勉強する授業(生徒全員が1日1回以上主役になる)を目指しており、常に新鮮な情報を提供するように心がけ日々挑戦しています。

(教育環境整備に関する要望)

学生達の授業参加に関する態度ですが、従来に比べ最近の学生は積極性が出てきているように感じています。この兆しは、諸先生方の地道な活動が成果として実を結びつつあるのでしょう。より一層の努力が望まれます。

私としては、日本溶接技術センターが更に日本及び世界から注目される専門教育機関になって欲しいと、切に願っています。そのためには積極的な改革が必要と思っています。以下、思いつくまま提案すると、

- 1)優秀な若手職員を採用し、日本溶接技術センターの活性化をはかる。
- 2)財源の確保:企業・他団体に負けない給料を支払う仕組みを作る。
- 3)建物、教育及び付属設備を全面的に更新:百貨店と同じ客商売と考へ、ショーウィンドの要素を備えること。
- 4)IT技術の積極的導入:まずはコンピュータ設備の更新・充実。
- 5)日本溶接技術センターの基本方針を世界に発信し、世の中の注目を集めること。そのためには、英語、中国語などによる発信も必要になるでしょう。

などが挙げられます。

日本溶接センターは私の第3の人生における活動のベースとなっています。若い学生との交流は若さを保つ上での源泉であり、今も現役時代と同様の専門技術を通じた仕事に従事できることに深く感謝する次第です。(財)日本溶接技術センターの更なる飛躍を祈念し、一非常勤講師からの寄稿文とさせていただきます。



濱野先生 授業風景



今井先生 授業風景